

ライオン学校伝書鳩通信

～ライオン学校のみんなに会いに行って来ました～



活動全体の様子 (H24.6.10)

今回の支援の予定は7月でした。しかし、前回の支援通信にも掲載しましたが、子供たちのことが気になり、急遽6月にもライオン学校を開校することになりました。大学生2人しか行けなかったのも、偉大な助っ人の2人の先生をお誘いして万石浦に入りました。今回の支援は子供たちに「サプライズ」で行ったにも関わらず、到着と同時に小5の男の子と会いました。日曜日の9時に何をしていたのでしょうか。「もしかしたら来てるかも・・・」そんな思いで子供たちはサポートセンターの前を通りかかっているのかもしれませんが。3か月ぶりに先生方に会えた子供たちは大喜び！全身で喜びを表現しているかのように、写真の通り、先生達に乗り放題です。紙飛行機飛ばし大会が行われたのですが、小学生の作った紙飛行機に敵う大人はいません。子供たちの心と体の成長をひしひしと感じました。



遊びと並行して行った家庭訪問では、温かい家庭の様子やどんどん変化していく環境など、家庭ごとに雰囲気は全く違います。しかし、共通している部分、それは「保護者のみんなライオン学校を受け入れている」ということです。去年の夏に「修学旅行にいかせねえ」と電話をしてきたお父さんも今では私たちが笑顔で迎えてくれ、子供たちをライオン学校へ温かく送り出しています。子供たちにとって一番身近な親たちは、大きな変化を感じているのでしょうか。



なかなか帰りたがらない男の子達もいましたが、お昼、ごはんを家に帰って食べるために、1回解散！ 午後に再び集合しました。昨日からずっと降っていた雨も上がったので外でサッカーをしました。他の団体に参加している子も一緒にしたり、外遊びが嫌な子は中で基地作りをしていました。公園に大きな水たまりが出来ていて、子供たちはその大きな水たまりに率先して入っていました。中にはすべて浸かってしまう子もいました。

そして振り返りを行いました。振り返りを行った紙には、カラフルに書かれたものもあれば、汚い字でも、自分の心から出し絞られたような言葉が書かれたものもあります。ライオン学校の大人たちと話した後、自信满满になった子、落ち着いた子、お別れの時間に向けて騒がしさがピークに達する子など色々いましたが、子供たちの言葉に耳を傾ける大人の存在の大切さが子供たちの行動から分かりました。家ではどんな風に過ごしているのか、クラスではどんな感じなのか、そこでは吐き出せないわがままや言葉を子供たちはライオン学校で思う存分に発揮していました。

お別れの集合をかけたとき、ここ2回の支援は「大学生+α」がいたためか、「次回のα」の指名をしてくれます。「みんなできてー」「帰りたくない」「次回は伊豆の予定かなー？」など、様々な声が飛び交う中、万石浦を後にしました。

自立へと向かう行動

全体の流れでも出てきましたが、水たまりに全身浸かった子のその後の行動がすばらしかったのです！支援をはじめたばかりの頃は裸で「キーン」といって走り回っていた男の子が水たまりから出た後に、「着替えを取りに行こう」と言うと、「こんなに汚して絶対怒られるー」と言うのです。今まで、そんなことでもお構いなしな様子だったのに、はっきりと言うのです。あまりにびしょびしょなのでお風呂場に連れて行き、大人が少し目を離していると、洗面桶に水を入れて、自分の服を小さな小さな手で洗濯していました。ここ最近、目まぐるしく成長している彼の姿に圧巻させられます。自分で汚したものを自分で洗う、とても大きな自立へと向かう行動だと感じました。

いじめコンプレックス作戦！

前回の通信に書かれた子とはまた別の子で、学校でのいじめに悩んでいる子がいます。学校が辛すぎて、朝お母さんに「学校に行きたくない、死にたい」と言うそうで、学校にも話をし、先生方も対応してくれているが、手に負えないと言った状況だそうです。その子は色んな事を知っているし、戦う意思も持っているのですが、あまりに辛すぎて、「我慢するしかない」と受け入れている様子でした。今回の支援に参加して下さった先生が「いじめコンプレックス作戦をたてよう！」とその子に言い、みんなが集団遊びをしている中、イジコン作戦を考えていました。「戦う」ための長期的な対策と短期的な対策を立てていたのですが、対策を立て終わった後の、その子の様子は家庭訪問の時とは大違い！表情にも自信が表れており、離れていても応援してくれる存在が、彼の持っている力を何倍も何倍も引き出しているのだと感じました。期待するという行動は子供たちの持っている力を引き出します。ライオン学校の子が持っている秘めたライオン魂の力で、辛い現状とたくましく戦ってほしいと思います。

寄付を頂いた方(6月1日～6月17日)敬称略

松永雅文

支援メンバー 甘利悠貴、大林沙紀(東京理科大学学生)松永雅文、高柳恭介(引地台中学校)

！寄付のお願い！ 継続的な支援のために、お願い致します。寄付を頂きました際には、お手数ですが右下記連絡先までご一報お願いします。

ゆうちょ銀行

店名:〇五八店(ゼロゴハチ店) 店番:058

番号:普通 3385189

ライオン学校(ライオンガッコウ)

※ゆうちょ銀行からの振込の場合

記号:10510 番号:33851891

グループ名:ライオン学校

連絡先:〒270-0101 千葉県流山市東深井 33-4

Ridai 古谷メゾン 201 号室

TEL: 080-6554-8762(代表:今井)

Email: info.lionschool@gmail.com